

創る、巡る、贈る

広報おおくま

2026

9

No.650



－ 今月の表紙 －

会津東山温泉盆踊り
(掲載記事8ページ)

特集 / 大熊町に人が増えているのはなぜ？ / 9月1日は防災の日

まちの話題 8 ページ | お知らせ 12 ページ | すこやかライフ 22 ページ

＼ 2025 年国勢調査(速報値)で人口増加率(81.1%)日本一 /

大熊町に人が 増えているのはなぜ？

今年 5 月に公表された 2025 年国勢調査(速報値)で、大熊町の人口は前回 2020 年調査から 81.1% 増加し、1,534 人でした。この増加率はダントツの日本一。「人口増」の観点から大熊町の今を伝えます。



視点

①

ゼロから始まる特殊性

5 年に一度実施される国勢調査は、町が毎月公表している住民基本台帳上の人口ではなく、実際に居住している人数を調べています。つまり、避難先で生活する町民は計上されないので、全町避難により大熊町の人口は「0」(2015 年調査)になりました。

一部避難指示解除から 1 年後の 2020 年調査では 847 人。そして今回は 687 人増の 1,534 人。他の自治体と違い、「ゼロからのスタート」なので増加傾向は当然とも言えます。

今回の調査でも、人口増加率は大熊町に次いで富岡町(35.8%)、浪江町(33.8%)、檜葉町(22.5%)と、長期の全町避難を経験した双葉郡の自治体が上位を占めています。



今年生まれた大熊町の赤ちゃんに声をかける町民



2011 年 6 月の町内。居住人口「0」の町になった。

避難先にいる町民も含めた住民基本台帳上の人口は震災以降、減少傾向が続いています(表1)。死亡数が出生数を上回ることなどが減少の主な理由です。ただ、町に住む人が大幅に増えているのは事実。町内に目を向けると、30代以下が5割を占めており、若い世代が多いことも特徴です(表2)。

表1. 人口推移(住民基本台帳による)

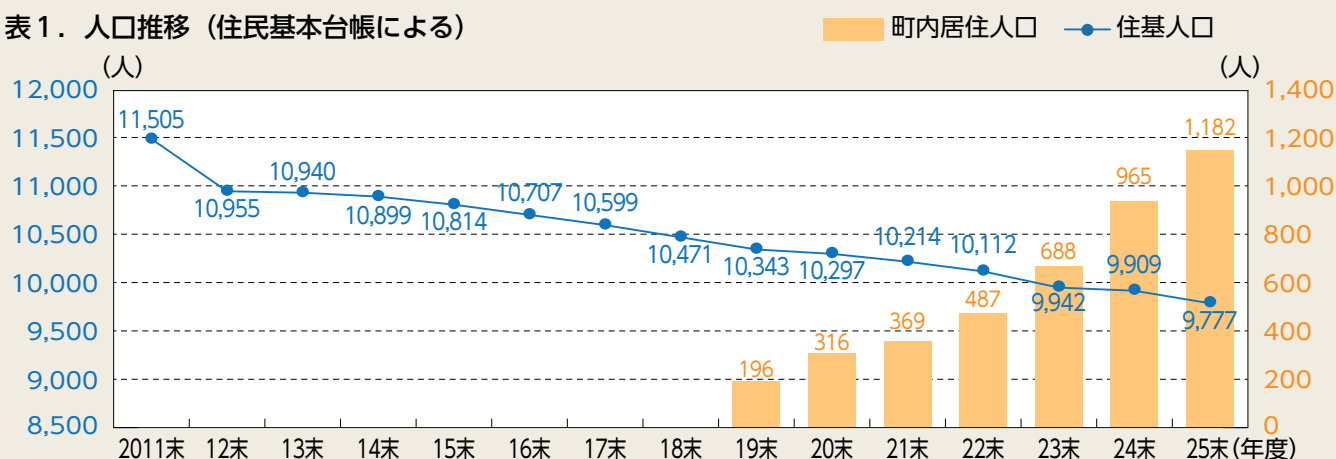
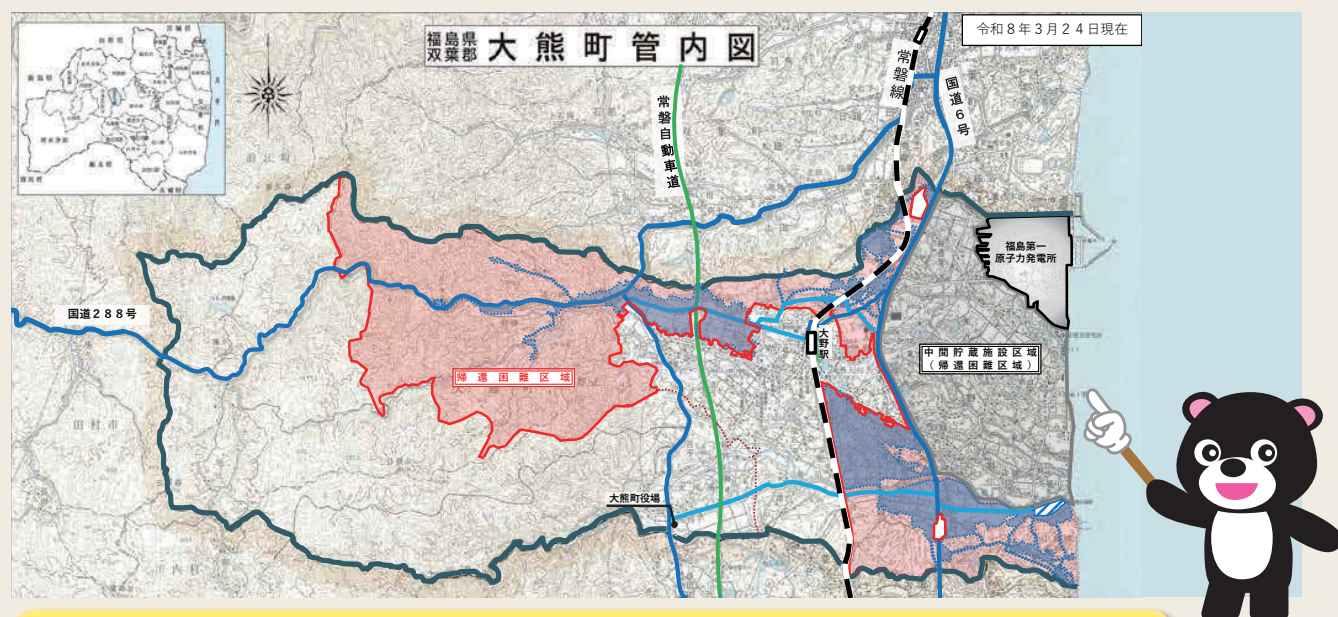
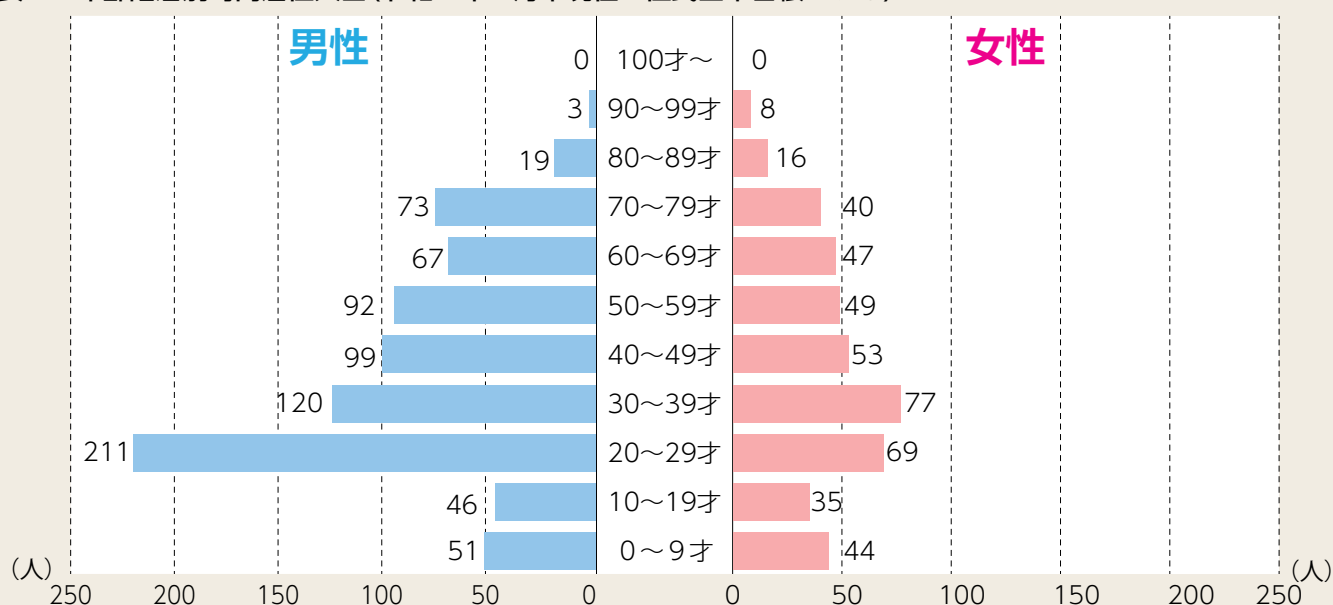


表2. 年齢階層別町内居住人口(令和8年6月末現在の住民基本台帳による)



大熊町で避難指示解除された地域は、面積のちょうど50%くらい。町の半分ではまだ自由に立ち入りできません。住民の帰還を叶えるため、「特定帰還居住区域」(青)で除染などが進行中です。



視点

②

職住近接。町に働く場が増えています

前回調査からの5年で、働く場の整備が進みました。2022年、起業や事業実証などを支援する「大熊インキュベーションセンター（OIC）」が開所。OICで準備し、産業交流施設「CREVAおおくま」（2025年開所）や大熊中央産業拠点などに進出する企業が生まれています。OICには約170社が入居し、CREVAおおくまは33区画がほぼ満室。大熊中央産業拠点には7社が進出を決めています。

また、東京電力によると、福島第一原発には1日あたり約5,000人が通っています。廃炉作業従事者は、現役世代が町内人口の一定数を占める要因になっています。



OICを支えるスタッフにも若い世代が多い。



OICを経て大熊中央産業拠点に竣工した工場

「住人がいて、雇用があって、納税されて町は成り立つ」と吉田町長。町の産業創出はこれから本番です。企業立地だけでなく、農業に取り組む事業者も増えつつあります。



視点

③

教育移住、ゆめの森で学ばせたい！

認定こども園と義務教育学校が一体となった「町立学び舎ゆめの森」。2023年4月、大川原地区で教育を開始した当初は園児・児童・生徒計26人でしたが、2026年8月現在140人まで増えました。

ゆめの森の目指す姿は「『わたし』を大事にし、『あなた』を大事にし、みんなで未来を紡ぎ出す」。0～15歳の子どもが混在する多様な環境で、一人ひとりの「好き」を追求しながら学ぶことを目指しています。仕切りが少なく開放的な校舎は、理念を体現する学びの場として注目を集めており、ゆめの森の教育を求めて新たな住民が加わっています。



こども園と義務教育学校が一体となった「町立学び舎ゆめの森」



ゆめの森での授業風景。開放的な校舎をのびのび使っている。



下野上地区の原住宅エリア



着々と開業準備が進むスーパーマーケット

視点

④

住環境が整ってきた

町は避難指示解除エリアの拡大とともに、住宅の整備を進めてきました。大川原地区と下野上地区に整備した計 190 戸の町営住宅は、常に満室に近い状態です。下野上地区では宅地分譲も進め、69 区画の約 6 割が分譲済み。住宅の選択肢を増やそうと、アパートなど民間賃貸住宅等のリフォームや建設に対する補助制度をつくり、入居可能な賃貸住宅も増えてきました。

10 月には、町民待望のスーパーマーケットが開業予定。また、県立医科大付属病院の開業(2029 年度以降)も決まっています。安心して生活できる環境が少しずつ整ってきています。



ゼロカーボン補助金を使って、再生可能エネルギーを活かし、省エネの工夫をした住宅も建設されています。創エネ・省エネで二酸化炭素排出量と光熱費を削減！環境にも人にも優しいまちづくりを進めています。

目標は 2034 年に町内居住人口 4,000 人！

東日本大震災前、町の人口は緩やかな増加傾向にありました。2011 年 3 月の人口は 11,505 人。住民基本台帳上の人口は、現在も 9,000 人を超えています。ただ、8 割以上の町民は避難先にあり、大熊町は、住民基本台帳と国勢調査で人口の値が大きく異なる、特殊な自治体になっています。

特殊とはいえ、増加率日本一は、大熊町が生活の場として再び選ばれる環境になってきたということであり、うれしく思います。今秋には、町民の皆さんからの要望が高かったスーパーマーケットの開業を控え、町での暮らしを選択する方が増えることを期待しています。

一方で、町の半分では避難指示が継続し、その地域の方々には自宅に戻る選択肢を示すことができていません。1 日も早い避難指示解除に向け、国等に対して強く働きかけるとともに、インフラ等の整備を進めてまいります。



特定帰還居住区域では除染やインフラ整備が進む。



大熊町長 吉田 淳

町の目標は「2034 年に町内居住人口 4,000 人」です。全国的な人口減少の折、決して簡単に達成できる数字ではありません。これからも地道に生活できる環境を広げ、生活の質を向上し、「大熊に住んでみたい」「暮らしてよかった」と思っただけの町を目指していきます。

災害から命を守るため、 ご自宅の備えを見直しましょう

9月1日は、1923年発災の関東大震災を教訓に制定された「防災の日」です。
災害は、いつ発生するかわかりません。
自分自身・家族の命を守るための行動を見直す機会にしましょう。

問 環境対策課 消防交通係 ☎ 0240-23-7831

平時の備えの見直しポイント！

ポイント①

防災・ハザードマップの再確認



日頃から、住んでいる地域のハザードマップを確認し、身の回りにどんな災害が起こり得るかを確認しておきましょう。避難ルートも災害によっては、通れない場合も想定されるので、平時から**複数のルート・避難所**を確認しておくことが大切です。



町内の避難所

大熊町役場

学び舎ゆめの森

住民福祉センター

東京エネシス

東京パワーテクノロジー

ポイント②

食料備蓄品は3日分が目安です

日頃からいつ起こるかわからない災害に備え、**最低3日分の水と食料を備蓄**しておきましょう。
備蓄食品が古くなってきたら、食べて、食べた分は買い足し備蓄していく「ローリングストック法」がおすすめです。



ポイント③

防災バックの中身の入れ替え

平時から必要最小限の防災バックを用意しましょう。家族構成によって必要なものは変わります**(赤ちゃんがいる世帯など)**
例) 飲料水・非常食・懐中電灯・予備バッテリー・携帯ラジオ・マスク・簡易トイレ・**オムツ・ミルク**など



ポイント④

家族との連絡方法・集合場所を決めましょう

災害時に連絡がとれる手段、集合場所を事前に家族の中で共有しておきましょう。
災害時には、電話はつながらない場合も想定されるので、平時より家族で話しておくことで、いざという時にスムーズに行動ができます。





風水害の事前の備えについて



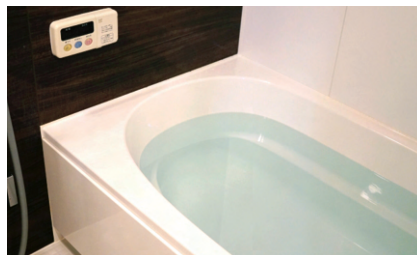
家の「外」の備え

- ・大雨が降る前、風が強くなる前に窓や雨戸のカギをかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定や、家の中へ格納しましょう



家の「中」の備え

- ・断水に備え、飲料水や浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。
- ・飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一に備え、カーテンやブラインドを降ろしておきましょう。



防災気象情報に変更されました



令和8年5月29日から防災気象情報が表のとおり変更されました。

大雨・土砂災害の際は、高齢者・子どもがいる家庭では、避難までに時間がかかるため、最新の防災気象情報を確認し、早めの行動を心がけましょう。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	警戒レベルごとの とるべき行動
警戒レベル5 相当	氾濫 特別警報	大雨 特別警報	土砂災害 特別警報	高潮 特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！					
警戒レベル4 相当	氾濫 危険警報	大雨 危険警報	土砂災害 危険警報	高潮 危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3 相当	氾濫警報	大雨警報	土砂災害 警報	高潮警報	避難に時間の係る人は 早めの避難
警戒レベル2 相当	氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害 注意報	高潮注意報	避難場所や避難行動を確認
警戒レベル1 相当	早期注意報				災害への事前の備えをする

防災情報の入手方法



ニュース番組や
NHKのDボタン



ラジオ放送
(FM/AM)



防災行政無線
(屋外/戸別受信機)



町からの情報発信
(町のホームページや公式LINEで
災害情報・避難情
報を発信します)



夏のひとときを家族と一緒に 認定こども園なつまつり

認定こども園学び舎ゆめの森で7月17日、なつまつりが開かれました。

緑日コーナーでは、色とりどりのカラーシートで手作りした金魚すくいや、ペットボトルで作った空気銃での的あてゲームを楽しみました。飲食コーナーでは、保護者らが作った焼きそばやかき氷が振舞われました。

また、スイカ割りも行われ、各クラスのくじ引きで当たりを引いた園児が「みぎ!」「そっちじゃないよ!」などの掛け声を頼りに、見事に棒をスイカに当てていました。



スイカ割りに挑戦した園児と見守る子どもたち

ゆめの森で地域の交流深める 第9回双葉郡小学校絆づくり交流会

郡内9つの小学校・支援学校が一堂に会し、レクリエーションやゲームを通じて交流を深める「双葉郡小学校絆づくり交流会」が7月28日に開かれ、義務教育課程の1～6学年生約300人の子どもたちが参加しました。



集合写真に納まる参加者一同

双葉郡教育復興ビジョン推進協議会の主催。各校の教職員のほか、ふたば未来学園の中高生らが実行委員を務めました。

第9回目となる今回は、昨年に引き続き学び舎ゆめの森を会場として開催されました。

参加した児童らは、低学年、中学年、高学年の3班に分かれてそれぞれの学年に応じたゲームを楽しみました。

会津東山に熊川の音が響く 会津東山温泉盆踊り「絆の夕べ」

会津若松市東山温泉街で毎年開催されている「東山温泉盆踊り」が7月31日～8月2日の日程で開催されました。8月1日には「絆の夕べ」と題され、会津若松市と大熊町、東京都台東区との友好を表す企画が盛り込まれました。

「絆の夕べ」では吉田淳町長が来賓あいさつ。現在の町の復興状況の紹介とともに、東日本大震災の際に多くの町民を受け入れてくださった会津若松市の皆さんへの感謝を述べました。

あいさつ後には熊川盆踊り愛好会による「熊川盆唄」のお囃子が奏でられ、会津若松市に避難中の町民や同市民らが盆踊りを息を合わせて踊りました。



お囃子を奏でた熊川盆踊り愛好会のメンバーら

町の交通事情を反映し策定目指す 大熊町地域公共交通計画

令和8年度「第1回大熊町地域公共交通活性化協議会」が7月28日、linkる大熊で開催されました。町は、今年度中の地域公共交通計画策定を目指し、国、県、交通事業者等の関係機関と検討を進めるため、協議会を設置しています。



吉岡副町長を会長として開催された協議会

今年度は全5回の協議会を開催。令和9年度から13年度までの5年計画の策定・施行を予定しています。

第1回目となる今回は、会長の吉岡健太郎副町長からのあいさつの後、地域公共交通計画策定の目的や策定スケジュールが、事務局から共有されました。また、今後の避難指示解除に伴い交通エリアが拡大していくことが見込まれる町の特殊な事情と、交通の課題を洗い出すための各種調査・アンケートの内容が確認されました。

要望活動

大熊町・双葉町の 復興・再生に向けた要望について

町は、8月3日に双葉町と合同で東京都内で要望活動を実施しました。

町からは吉田淳町長と仲野剛議会議長が、双葉町からは伊沢史朗町長と岩本久人議会議長が出席し、牧野たかお復興大臣をはじめとする政府関係省庁、自由民主党東日本大震災復興加速化本部の谷公一本部長、公明党東日本大震災復興加速化本部の三浦信祐本部長に要望書を手交しました。

町では、今後もあらゆる機会を捉え、町の実情を国に伝えるとともに、町の復興・再生に向けた取組が着実に進むよう、継続して要望活動を行ってまいります。

主な要望事項

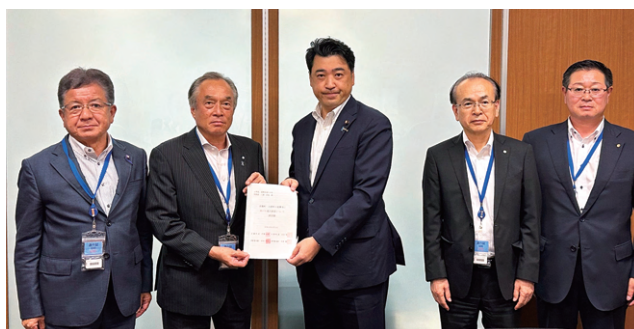
- ・残された土地・家屋等に対する方針の明示
- ・中長期にわたる財源の確保等
- ・国の推進体制及び機能の確保
- ・避難生活及び帰還を支える生活支援の継続



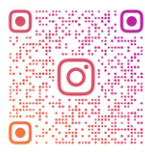
復興庁



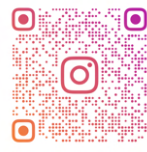
自由民主党東日本大震災復興加速化本部



公明党東日本大震災復興加速化本部



OKUMA_IJUTEIJU
移住に関する
情報



OKUMA_MACHIZUKURI_KOSHA
まちづくり公社
に関する情報

復興支援員のぞいてみよう!

vol.12



コミュニティ再構築や町内住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？

日々の支援内容や大熊町の魅力、今後の目標などをお伝えします。

大熊町の特産品・グッズ類の物販を通して感じたこと



みなさんこんにちは！復興支援員の角田涼太です。おおくままちづくり公社では大熊町の特産品やグッズを販売しており、会津娘純米吟醸酒「帰忘郷」をはじめ甘酒、Tシャツ、デニムポーチ、シャーペンなど幅広い商品を展開中です。ECサイト「okuma store」での販売や町内のイベントのほか、町外のイベントにも積極的に出店しています。

イベントで出店をすると、多くの方がブースにお越しいただき、購入いただいています。物販は商品を購入していただくだけでなく、来場者の方と

会話しながら大熊町のことをお伝えすることも魅力だと感じています！例えば、ゼリーを試食したお子さんがおいしそうな顔をして、親御さんに「このゼリーが欲しい」と言っている姿や甘酒を試飲された方が「飲みやすくておいしいですね」と言って購入してくださるなど、対面で商品を知ってもらえることがたくさんありました。

物販からこのような姿を見ることができて、とてもうれしいです！

これからも物販を通して、一人でも多くの方に大熊町の魅力を知っていただき、「行ってみたい」と思っただけできるよう取り組んでいきます。新商品も計画中です！！乞うご期待ください！！

ECサイト「okuma store」ではグッズや特産品の販売もしておりますので、ぜひQRコードより覗いてみてください。



okuma store

今月の支援員は
こちら！



【支援員】

氏 名 角田涼太（つのだ りょうた）

着任月 2023年6月

受入先企業 おおくままちづくり公社





OIC OKUMA INCUBATION CENTER

大熊インキュベーションセンター



全文はこちらから

OIC OKUMA INCUBATION CENTER
大熊インキュベーションセンター

入居者紹介 OIC ってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター（OIC）には、現在170社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざま。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。

東栄科学産業



山城拓磨さん

今回ご紹介するのは、東栄科学産業です。経営企画部 取締役次長の山城拓磨さんと、宇都宮営業所 分析担当部長 兼 郡山営業所長であり、OICを拠点の一つとして活動する橋本富美男さんにお話を伺いました。

同社は、研究機関や大学、民間企業などに向けて、分析機器・計測機器・理化学機器の提案、販売、据付、保守を行っています。研究開発やものづくりの現場を支える“裏方”の存在として、単に機器を販売するだけでなく、「何に困っているのか」「どのような研究や開発をしたいのか」をしっかりと理解することを大切にしているといいます。

大熊町での活動を始めた背景には、浜通り地域で研究開発や新しい産業づくりに向けた動きが広がってきたことにあります。研究施設の整備や企業進出が進むにつれ、技術支援の立場から現場を支える同社の強みを活かせる機会も増えてきているそうです。

OICには、浜通り地域における活動拠点として入居。打ち合わせや作業の場としてだけでなく、入居企業や行政の方々との情報交換の場としても活用しているとのこと。イベントや交流会を通じて、異業種の方や若い世代とつながる機会も増え、新たな発想や地域課題への気づきも得ているといいます。

山城さん、橋本さんにとって、大熊町は「新しい挑戦が始まっている場所」。今後は、研究者、企業、メーカー、地域の事業者をつなぐ技術ネットワークの中心的な役割を担いながら、困った時にまず相談してもらえる関係づくりを進め、浜通り地域の新しい産業や研究環境づくりを支えていきたいと話します。

PASSTO 設置のお知らせ

資源回収ボックス「PASSTO」で衣類と雑貨の回収を始めました



PASSTOの詳細はこちら

7月から、不要になった衣類や雑貨を回収し、再利用につなげる資源回収ボックス「PASSTO（パスト）」をOICに常設しています。

大熊町が掲げるゼロカーボンの実現に向けて、OICとしてできることを検討した結果、町民の皆さまや入居企業の方々が使わなくなった衣類や日用品、雑貨などを、必要とする次の方へつなぐ仕組みとして「PASSTO」を導入することとなりました。

回収ボックスはOICのエントランスに毎日設置し、開館時間中はいつでもお持ち込みいただけます。また、ふるさと祭りをはじめとする町内イベントでの出張回収も予定。素敵な品はOICフリーマーケットの商品として売り場に登場するかもしれません。

「まだ使えるけれど、使わなくなった」衣類や雑貨などがございましたら、下記の回収品目を確認の上、ぜひお気軽にお持ち込みください。皆さまのご協力をお願いいたします。

■回収品目

回収できるもの：衣類、バッグ・靴・帽子などのファッション雑貨、ホビー用品・おもちゃなど（※次に使う人がそのまま使える状態のものに限ります。衣類等は洗濯の上お持ちください。）

回収できないもの：肌着・下着類、靴下、汚損や破損のひどいもの、寝具、大型家具など



OICのイベント・セミナー開催情報はここから！

ホームページから施設見学や会議室、グラウンドの予約も可能です。ぜひご利用ください！



Instagram



X



HP

大熊町からの

お知らせ



内容	日時	会場
対象	費用	持ち物
申し込み方法	期	申し込み
期限	問い合わせ先	
☎電話番号	FAX	ファクス
✉メールアドレス		
WEB	ウェブサイト	

募集・イベント



町政懇談会を実施します



町は町政懇談会を大熊町、いわき市、郡山市、会津若松市の県内4会場で実施します。町民であれば、どの会場でも参加できます。日時と場所をご確認の上、ぜひご参加ください。

※各会場とも1時間半程度を見込んでいます。

内 主要な事業説明および質疑応答

対 町民

申 不要

■大熊会場

時 9月26日(土)午前10時～

場 linkる大熊 多目的ホール

(大熊町大川原南平1207番1)

■いわき会場

時 9月27日(日)午前10時～

場 新舞子ハイツ 多目的ホール

(いわき市平下高久南谷地16の4)

■郡山会場

時 10月3日(土)午後1時～

場 福島県郡山合同庁舎 中会議室

A、B(郡山市南1丁目94番)

■会津若松会場

時 10月4日(日)午前10時30分～

場 アピオスペース 大会議室

(会津若松市インター西90)

※10月4日は会津若松市で鶴ヶ城ハーフマラソンに伴う大規模な交通規制が予定されています。会津会場にご参加の場合は、規制情報をご確認の上、時間に余裕を持ってお越しください。鶴ヶ城ハーフマラソンの情報は大会ホームページでご確認ください。

問 総務課 秘書広聴係

時 9月25日(日)

場 福島県知事選挙の投票日です。

大熊町選挙管理委員会、選挙の際の投票立会人を募集します。

■応募資格

大熊町の選挙人名簿に登録され、選挙権を有する方

■職務内容

大熊町の投票所で、投票が公正に行われるよう立ち会います。

■従事日時、場所、募集人員

〈投票立会人(投票日当日)〉

投票立会人を募集します

10月25日(日)

は福島県知事選挙の投票日です。

大熊町選挙管理委員会、選挙の際の投票立会人を募集します。

■応募資格

大熊町の選挙人名簿に登録され、選挙権を有する方

■職務内容

大熊町の投票所で、投票が公正に行われるよう立ち会います。

■従事日時、場所、募集人員

〈投票立会人(投票日当日)〉

・立会日

10月25日(日)

・場所、時間

① 場 大熊町役場

時 午前6時30分～午後7時

② 場 会津若松出張所、いわき出張所、中通り連絡事務所

時 午前6時30分～午後5時

張所、中通り連絡事務所

時 午前6時30分～午後5時

張所、中通り連絡事務所

時 午前6時30分～午後5時

張所、中通り連絡事務所

0240(23)7568

・募集人員
各投票所3人

〈期日前投票立会人〉

・立会日

10月9日(金)～10月24日(土)

・場所、時間

① 場 大熊町役場

時 午前8時15分～午後7時

② 場 いわき出張所

時 午前8時15分～午後8時

・募集人員

投票期間中1日につき各投票所

3人

※上記投票所の他、福島市、郡山市、会津若松市、白河市、南相馬市、いわき市南部でも投票期間中

1日、投票所を開設予定です。

■報酬(源泉徴収あり)

・投票立会人(投票日当日)

日額12,400円

・期日前投票立会人

日額10,900円

・応募方法

住所・氏名・生年月日・電話番号・希望投票所を電話かFAX、またはメールでご連絡ください。

■募集期間

9月1日(火)～9月18日(金)

問 選挙管理委員会(総務課内)

☎ 0240(23)7569

FAX 0240(23)7845

✉ somnu@town.okuma.

fukushima.jp

都市計画の変更に 向けた住民説明会 を開催します



町は都市計画の変更を予定しています。そこで、都市計画の変更案の内容等を広く皆さまにお知らせし、ご意見を伺うため、住民説明会を開催します。広報おくまに同封の説明会資料をご覧ください。説明会へご参加ください。

■都市計画の変更の概要

- ・西大和久地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設
- ・富岡都市計画道路(佐山沢鈴内線)
- ・大熊町特定環境保全公共下水道事業計画

時 9月12日(土)

午後1時30分～2時30分

場 大熊町役場 1階多目的ホール
申 不要。会場に直接ご来場ください。

問 復興事業課 都市計画係

☎ 0240(23)7068

大熊町下野上地区(原・大野 南・旭台)における宅地分譲 の案内および申し込 みについて



町は、下野上地区の宅地分譲の募集をしています。

次の日程で現地見学会と申し込みを実施しますので、資料を希望される方はホームページからダウンロードもしくは生活支援課の窓口までご連絡ください。

時 ①10月23日(金)午前10時～午後4時
②10月24日(土)午前10時～正午

場 宅地分譲現地案内所(再生賃貸住宅内、原コミュニティ・スペース)

※現地申込・見学会は予約不要です。会場へ直接お越しください。

■郵便申込期間

期 10月10日(土)当日消印有効

※当町へ資料を請求し、ご確認の上お申し込みください。

問 生活支援課 移住定住支援係

☎ 0240(23)7456

受付時間：午前8時30分～午後5時15分(平日)

海外派遣事業の参 加者を募集します



オーストラリア・バサースト市で、集中的な語学研修「おくま希望の翼」インテンシブプログラム18+に参加希望する18歳以上の方を募集しています。応募資格や申込書類、申込方法等の詳細は町ホームページをご確認ください。

時 令和9年3月13日(土)～3月28日(日)

場 オーストラリア・ニューサウスウェールズ州バサースト市

定 5人

※書類、面接による審査あり

期 9月18日(金)当日消印有効

申 申込書類(ホームページからダウンロード)を生涯学習課へ提出

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

大熊町文化展の出席 作品を募集します



大熊町文化展を10月24日(土)から10月31日(土)までCREVAにおくまで開催します。

募集作品は例年と同じく種類は問いませんが、高価で盗難や破損の恐れがあるものは出展をお控えください。

詳細は同封チラシまたはホームページをご確認ください。多くの方の出展をお待ちしています(申込書はチラシ裏面についています)。

時 10月24日(土)～10月31日(土) 場 CREVA おくま

■作品受付(持込)期間

10月1日(木)～14日(水)まで

※平日の午前9時～午後5時

■作品持込場所

大熊町役場生涯学習課窓口、各出張所・連絡事務所

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

コミュニティサロン にご参加ください



生涯学習課では毎月、学び舎
めの森でコミュニティサロンを開
催しています。カフェコーナーや
本の貸し出しも常設していますの
で、ぜひお立ち寄りください。

①内ミニサロン(カフェのみ)

時 9月30日(水)

②内ワークショップ「木工体験」

時 10月1日(木)

〈共通〉

時 午前10時～午後1時

場 学び舎ゆめの森

対 どなたでも

費 無料

申 不要

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

おおくまハチドリプロジェ クトがプラン発表 会を開催します



本プロジェクトは、全国から集
まった高校生・大学生が、町の未
来について企画の立案・実践に取

り組むものです。2020年度に
スタートし、今年で7年目を迎え
ました。

学生たちが町で学び、交流を重
ね、考え抜いたアイデアをぜひ会
場でお聞きください。

時 9月19日(土)午後1時～4時

場 CREVAおおくま CREV

A HALL

費 無料

問 おおくまハチドリ協議会(主催)

株式会社 Oriai(窓口)

☎ 080(2379)3806(中村)

✉ info@orai.jp

学び舎ゆめの森で「令和8 年度 ゆめフェス」 が開催されます



子どもたちが1年間で探求して
きた成果をさまざまな形で発表し
ます。来場者の皆さんを楽しませ
るよう工夫を凝らしておりますの
で、ぜひご来場ください。

時 9月26日(土)午前9時開始

場 学び舎ゆめの森

対 どなたでも

費 無料

問 学び舎ゆめの森(担当: 滝)

☎ 0240(23)5341

OICでランチ 交流会を開催します



美味しい料理を囲み、自由にお
話ができる大熊インキュベーション
センター(OIC)のコミュニテ
ィイベントが今月も行われます。
入居の有無に関わらずどなたでも
参加できます。少しずつ秋の気配
が感じられる季節に、ランチを楽
しみながら新たな交流を広げてみ
ませんか。たくさんのご参加をお
待ちしております。

時 9月30日(水) 正午～午後1時

場 大熊インキュベーションセンター

費 1500円

申 必要

期 9月28日(月)まで

問 大熊インキュベーションセンター

☎ 0240(23)7721



文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター (ADR センター) からのお知らせ



原発事故の損害賠償の
請求はまだ間に合います
気になることがあれば
お早めにご利用ください

今年も大熊町と連携して町の健康診断会場に
ADR センターの出張窓口を設置予定です。
決定後にお知らせいたします。

平日夜間・土曜窓口もご利用ください

時 ① 10月3日(土) 午後1時～5時

② 11月4日(水) 午後4時～8時

対面(福島事務所へ来所) ▶ 予約優先制

電話・オンライン(Zoom 会議)

▶ 完全予約制(先着順)

ご予約は電話で ☎ 024(941)0164

受付時間 平日午前10時～午後4時

ご利用は
無料



問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎ 0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

環境省 福島環境局からの
お知らせ

中間貯蔵施設見学 会を開催します



時 9月25日(金)、26日(土)

申 中間貯蔵事業情報センター

☎ 0240(25)8377

※9月19日(土)～9月27日(日)まで、輸送を休止します。

問 福島環境局 中間貯蔵部中間貯蔵総括課

☎ 024(563)1293

福島広域雇用促進支援協議 会から

●行くしかない!!

働きたいネットの合同就

職面接会



時 10月2日(金)午後1時～3時

場 まるさん・あったまるアリーナ

(南相馬市原町区桜井町2丁目200)

■参加企業

相双地域等の企業45社

申 必要。電話、ホームページから
予約または当日参加。予約がオス

スメです。

※本面接会は「求職活動実績」になります。雇用保険受給者の方には参加証明書を発行します。

●実践型Word・Excelパソコン講座(富岡会場)

実践的なパソコン技術を習得し

て、早期就職を目指しませんか?!
パソコン操作に自信を持って、
就職活動に生かしましょう!

時 10月5日(月)～10月19日(月)の

平日午前9時20分～午後4時

場 富岡町社会福祉協議会(富岡町

中央1丁目8の1)

費 受講料・テキスト代無料

期 9月24日(木)

定 20人

※申込締切後、当該事業の主旨に
基づき厳正に選考し、選考結果は
電話でご連絡します。

※雇用保険受給者の方には参加証

明書を発行します。

問 福島広域雇用促進支援協議会

福島統括窓口

☎ 024(524)2121

おおくま町物語 伝承の会



内 まち物語コンサート昭和村公演

唄と舞踊の共演(第1・3部)/民

謡と民謡のつどい(第2部)

時 9月26日(土)

午前10時30分開場/11時30分

午後3時開演

場 昭和村公民館 大ホール

■参加者募集中

紙芝居に唄と踊りを組み合わせ
た「絵おと芝居」の読み手と踊り手
を募集しています。詳細は問い

合わせください。

■稽古場所

原再生質貸住宅コミュニティス

ペース(大熊町)/白虎団地集会所

(会津若松市)

問 代表 橋秀人

☎ 090(5352)2576

オンラインジャンボで

9月16日(水)発売!!

1枚300円

この宝くじの収益金は市町村の明るく
住みよいまちづくりに使われます。

(公財)福島県市町村振興協会

大熊町戦没者追悼式・ 慰霊祭を開催します



内 令和8年度大熊町戦没者追悼式・慰霊祭

時 10月9日(金)午前10時～

午前9時15分受付開始

場 linkる大熊多目的ホール

問 福祉課 福祉係

☎ 0240(23)7196

大熊町いわき会



内 ニューススポーツ交流会(誰でも

遊び感覚で囲碁ボール)

時 9月15日(火)午前9時30分

費 500円(昼食込)

持 動きやすい服装、あれば室内用

靴

定 30人

申 必要

期 9月12日(土)

問 宮本明

☎ 090(5188)8163

おおくま気楽会



内 お食事会とお楽しみ会

時 9月20日(日) 正午～

場 下矢田団地集会所

費 500円 定 10～15人程度

申 必要 期 9月5日(土)

問 菅野

080(5222)6014

問 吉田

080(6026)2870

おおがわら会



内 ニュースポーツで交流をはかろう！

時 10月4日(日)

午前10時～(受付9時30分～)

場 linkる大熊

費 高校生以上500円

小中学生 300円

未就学児無料

持室内用靴 定 30人 申 必要

問 山本千代子

090(7072)6611

(平日午前9時～午後5時)

おおくま中通り会



内 栃木バスツアー

時 10月20日(火)

※中通り連絡事務所 午前8時20分集合、8時30分出発

費 3000円(昼食付)

申 必要 期 10月5日(月)

問 斎藤重征

090(8423)6515

問 鈴木久友

090(3368)8919

大熊町山田会



内 芋煮会

時 9月27日(日) 午前10時～

※手伝ってくれる方 9時30分

場 渡辺宅 費 1000円

定 30人 申 必要

問 石田和枝

090(7326)7444

駅前地区



内 令和8年度第2回駅前地区パ

ゴルフ大会

時 9月26日(土)

・受け付け 午後0時30分

・競技開始 午後1時

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴ

ルフ場(広野町大字下北迫字大谷

地原65の3)

期 9月15日(火)まで

問 中里

090(9535)8404

問 中島

090(9539)1245

問 栃本

090(6224)3253

熊川区



内 令和8年度第2回熊川区パーク

ゴルフ交流会

※終了後、パークゴルフ場施設内

で懇談会を開きます。

※クラブが必要な方は申込時にお

伝えください。

時 9月27日(日)

・受け付け 午前9時

・競技開始 午前9時30分

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴ

ルフ場(広野町大字下北迫字大谷

地原65の3)

費 500円(保険・プレー代)

期 9月11日(金)

問 鎌田恭行

090(7792)9119

問 廣嶋正人

090(4889)0681

補助・助成



やってみっぺ！おおくまフィットネス！の制度のご案内



健康状態や生活習慣について関

心を持ち、運動習慣を獲得し生活

習慣の改善につながることを目的

とし、フィットネスクラブやスポ

ーツジムなどの運動施設の利用料

を助成する制度です。申請に関す

る詳細は町ホームページをご確認

ください。

■対象者

①前年度もしくは当年度において

健康診断を受け、かつ、健診結果

返却後、特定保健指導等にてその

健康診断結果に対して保健師等の

指導を受けた者

②医師から運動制限の指示を受けておらず、運動施設を継続して3カ月以上利用する者

③1カ月あたり8日以上運動施設を継続して利用している者

■助成回数

同一対象者へ1回限り

■申請に必要なもの

・運動施設利用個人負担金助成申請書

・健康診断結果の写し

・3カ月以上(1カ月当たり8日以上)施設を利用したことがわかる書類

健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

お知らせ



大熊町住民意向調査を実施します



町は、今年度も復興庁、県と共に住民意向調査を実施します。

この調査は、皆さまから将来のご意向などについて伺いするもので、今後のまちづくりや支援の

方向性、町の施策を検討する基礎資料として活用します。

回答をお願いする方には、9月下旬から調査票を郵送しますので、ご協力をお願いします。

対震災発生時、大熊町に住民登録があった世帯の代表者(避難後に転出された世帯を含む)

※分散避難されている場合は、それぞれの避難先へ調査票を送付していますので、送付された代表者ごとに回答ください。

■回答方法

返信用封筒へ調査票を封入し、郵便ポストへ投函もしくはWEBにてご回答ください。WEB回答いただいた場合、調査票の郵送は不要です。

期10月12日(月)まで

復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター

☎ 0120(990)917(フリーダイヤル)

敬老祝金を支給します



大熊町に住民票のある高齢者に

対して、長寿を祝福するため大熊町敬老祝金を支給します。

対令和8年9月15日現在、満70歳以上の方で町内に引き続き6カ月以上住所を有する方

■支給方法

□座振替で振り込み

●支給を受けたことのある方

8月下旬に振込口座確認の通知をお送りしています。□座に変更等がない場合は、ご確認いただくだけの書類となります。

●初めて支給を受ける方(今回から受給する方)

8月下旬に振込口座登録に係る書類をお送りしています。添付書類と合わせて返送してください。

■敬老祝金の支給日

9月下旬を予定しています。支給後に支払通知を送付します。

※口座の登録・変更に関して書類の不備等がある場合は支給が10月以降に遅れる場合もありますので、ご了承ください。

福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

不動産利活用、地域コミュニティをサポート！

特産品「帰忘郷」販売中！

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶



●不動産利活用登録募集

●okuma store

●大熊町復興支援員2人募集中！

大熊町の未来と一緒に作っていただける方を募集しています。まちづくりプレイヤーとして参加し、課題に挑戦することを楽しめる方のご応募をお待ちしております！
詳細は右記QRコードよりご確認ください。



問おおくままちづくり公社 ☎ 0240(23)7101 (平日午前9時～午後5時)

年金生活者支援 給付金について



年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に乗せして支給されるものです。

今年から新たに対象になる方をはじめ受給される方に対して、9月1日から順次、日本年金機構から書類が発送されます。受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内や事務手続きは、日本年金機構(年金事務所)にお問い合わせください(すでに給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です)。

問 健康保険課 国保年金係

☎ 0240(23)7143

問 平年金事務所

☎ 0246(23)5611

行政相談を 受け付けます



9月、10月の2カ月間は「行政相談月間」です。

行政相談は、役所(国、県、市区町村)等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、わからないこと、要望したいこと等について相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

大熊町では、松永秀篤さんが総務省から行政相談委員を委嘱されています。

行政相談委員はいつでも相談に応じています。

行政相談月間内の次の日程で「特設相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

時 9月25日(金)

午前9時30分～正午
午後1時～4時

場 大熊町役場 1階相談室



行政相談委員
松永秀篤さん

問 総務課 行政係

☎ 0240(23)7569

証明書のコンビニ 交付サービスを一 時停止します



機器メンテナンスのため、次の日程でマイナンバーカードを用いたコンビニエンスストアでのすべての証明書の交付を一時停止します。また、居住先の自治体でも以下の証明書等の取得が可能です。で、この機会にご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■停止期間

- ① 9月8日(火)午後11時～11日(金)午前6時30分
- ② 9月16日(水)午後5時15分～17日(木)午前6時30分
- ③ 9月25日(金)午後5時15分～28日(月)午前10時

●住民票の写しの広域交付

■申請できる方

本人または同一世帯員

■持参するもの

本人確認書類(官公庁発行のマイナンバーカード・運転免許証など住民票の住所が確認できる顔写真付き証明書)

■取得できる証明

住民票謄本・抄本(ただし本籍地・筆頭者の記載はできません)

●戸籍証明書等の広域交付

■申請できる方

本人または配偶者・直系親族

■持参するもの

本人確認書類(官公庁発行のマイナンバーカード・運転免許証など顔写真付き証明書)

■取得できる証明

戸籍謄本(戸籍全部事項証明)、除籍謄本(除籍全部事項証明、改製原戸籍謄本)

※戸籍抄本、除籍抄本、戸籍の附票、身分証明書、独身証明書等は請求できません。

問 住民税務課 住民係

☎ 0240(23)7146

eLTAxのサービス が一時停止されます



eLTAx更改のため、次の日程でサービスが一時停止されます。期間中はeLTAxを利用した電子申告・電子納付やeLTAx R・eL番号を利用したキャッシュ

ユレス納付等が利用できませんのでご注意ください。

詳しくは、eLTAxホームページをご覧ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■停止期間

9月19日(土)午前0時～9月24日(木)午前8時30分

問 住民税務課 管理徴収係

☎ 0240(23)7158

マイナンバー記載の住民票をコンビニで取得できるようにになりました



マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの証明書交付において、マイナンバー記載の住民票を取得できるようになりました。本人、同一世帯員の方の取得が可能ですので、ぜひご利用ください。

問 住民税務課 住民係

☎ 0240(23)7146

お願い



おこめ券の使用期限は9月30日です



おこめ券の使用期限は9月30日(水)です。

使用にあたっては次の点にご注意ください。

・おこめ券は交付を受けたご本人と家族のみ使用できます。

・おつりは出ません。不足分は現金などでお支払いください。

・紛失、盗難、破損にご注意ください。再発行はできません。

・転売や換金のご遠慮ください。

※おこめ券の配布について、大熊町役場から電話をかけて銀行・ATMへ誘導することは絶対にありません。不審な訪問や電話等ありましたら農業振興課までお問い合わせください。

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

健康



いきいき美活教室



内 生活習慣病予防のための有酸素運動や筋力トレーニング、ストレッチや呼吸法を学びます。

講師は保健師でヨガインストラクターの橘まゆみ氏です。

時 9月15日(火)

午前10時～11時30分

場 会津若松出張所

対 会津地域の町民

持 飲み物、スパーボール(手元にある方)、手ぬぐいまたはスポーツタオル(90～100cm)

費 無料 定8人 期前日まで

申 必要。電話で

問 会津若松出張所

☎ 0242(23)4121

いきいき若返り測定会を開催します



内 インボディ、握力・足指測定、歩行年齢測定、口腔機能・咀嚼力測定

対 9月18日(金)、令和9年1月27日(水)の両日に参加できる方

時 午前9時～正午(予約状況により受付時間は別途通知いたします)

場 大熊町保健センター

持 最近受けた健診結果票(持っている方)、飲み物

定 30人程度

期 9月11日(金)まで

申 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

移住定住をサポート!

町移住定住支援センターの最新情報はこちら▶

- くまジョブ(求人情報サイト)
 - チャレンジ応援プログラム募集中です!
 - 「おおくまスポットワーク」を募集中。
- 詳細は右記 QR コードよりご確認ください。



問 大熊町移住定住支援センター ☎ 0240(23)7103

心のサポーター養成研修に参加しませんか？



大熊町は、心の状態について正しい知識を持ってもらい、家族や同僚など身近な人に対して、傾聴を中心とした支援を行えるよう、「心のサポーター養成研修」を行います。

受講修了者には認定証を交付予定ですので、ぜひ参加をお願いします。

時 9月14日(月)午前10時～正午

場 大熊町保健センター

対 小学生以上の町民

定 20人

申 9月10日(木)までに窓口か電話で

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419



子育て



子育てひろば



① ① 自由遊び、身長体重測定、個別相談

時 9月15日(火)

申 9月14日(月)までに電話で

② ② リトミック、身長体重測定、個別相談

時 10月6日(火)

申 9月29日(火)までに電話で

〈共通〉

時 午前9時30分～11時30分

場 大熊町役場 いわき出張所

定 親子5組

対 未就学児と保護者(祖父母も可)

持 飲み物、おむつ、バスタオル

※ 体重測定希望の方・おむつ交換の際は、ご自身でバスタオルをお持ちください。

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎ 0240(22)2119

9月も油断大敵！「残暑の熱中症」を防ごう

今月も危ない！季節の変わり目の落とし穴。

9月になり朝晩は涼しくなりましたが、日中は厳しい残暑が戻ります。「もう秋だから」という油断や夏の疲れの蓄積から実は熱中症になりやすい時期です。しっかり対策を続けましょう！

9月の熱中症「3つの原因」

- 9月だから「もう大丈夫」ではない…帽子や水分補給を怠りがち。
- 夏の疲れ(夏バテ)…体力が落ちており、暑さに弱くなっています。
- 激しい気温差…朝晩と日中の寒暖差に体がついていきません。

もしも「熱中症かな？」と思ったら

「めまい、頭痛、吐き気、だるさ」は危険信号です！

- 涼しい場所へ…風通しの良い日陰やエアコンの効いた室内へ。
- 体を冷やす…首、わきの下、足の付け根、手のひらを冷やします。
- 水分補給…意識があれば、スポーツドリンクや経口補水液を補給しよう。

9月に実践する「夏バテ対策」

- 栄養価の高い食品を摂取しよう…筋肉の元となるタンパク質や汗で失いやすいミネラルや塩分を補給しましょう。
- エアコンを適切に使い、睡眠の質を高めよう…寒さを感じない室温にして、風が直接身体に当たらないようにしましょう。
- 汗をかく力を高めよう…軽い運動や湯船に浸かり、汗をかきやすくし、体温調整しやすくしましょう。



救急車(119番通報)を呼ぶ目安

自力で水が飲めない、意識がはっきりしない場合は、すぐに救急車を呼んでください！！



柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

今月は、先月号のコラムに引き続き年度末に実施したアンケート調査の結果について、地域とのつながりや、皆さまの心の健康状態についてご報告します。

今回ご回答いただいた方の現在の居住地は、福島県内の浜通り地方が 60.3% と最も多く、次いで中通り地方 16.1%、会津地方 5.6%、県外にお住まいの方は 17.9% でした。現在お住まいの地域への親しみと、日常的な付き合いの程度について、居住地別に示した結果が下の図 1 です。親しみについては、浜通り地方 54.4%、中通り地方 62.9%、会津地方 79.2%、県外 60.3% となり、会津地方にお住まいの多くの方が地域への親しみを感じているという結果でした。付き合いの程度については、福島県内在住の方に比べ、県外にお住まいの方では 32.7% と地域との付き合いを持っている方の割合が少ない傾向が見られました。

また、今回の調査では心の健康状態の把握を目的として、世界保健機関(WHO)が開発した「WHO- 5 精神的健康状態表」という指標を用いました。「明るく楽しい気分で過ごせたか」「ぐっすり眠れたか」など 5 つの質問への回答をもとに算出する指標で、点数が高いほど、心の健康状態が良好であることを示します。大熊町の皆さまの合計得点の平均は 53.1 点(0 ~ 100 点の範囲)でした。この指標では、一般的に 50 点を下回ると、心の健康面での注意が必要となる可能性があるとしてされています。今回の結果では、58.6% の方が 50 点以上、41.4% の方が 50 点未満でした(図 2)。

人とのつながりや支え合いは、心の健康を保つ上で重要な要素のひとつであることがわかっています。現在住んでいる地域において、日常的なつながりを保てる機会をどのように作っていくかが大切であるといえます。11 月には昨年度同様、アンケート調査を実施させていただく予定です。ぜひ回答にご協力いただけますと幸いです。

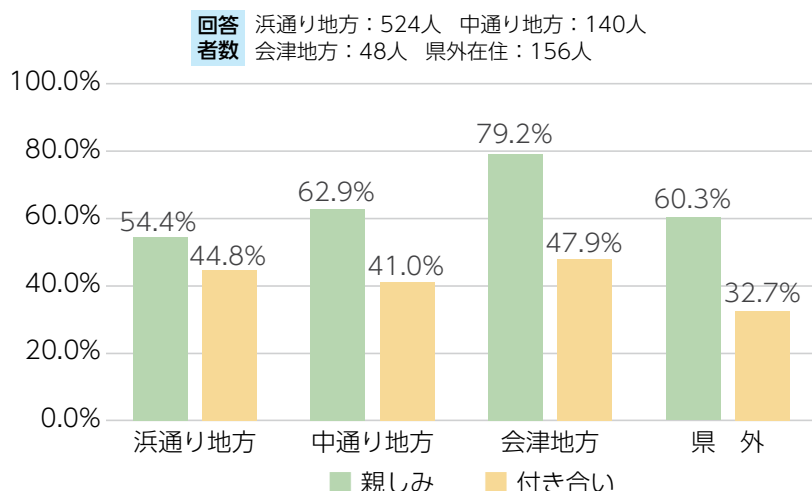


図 1 地域とのつながり(居住地別)

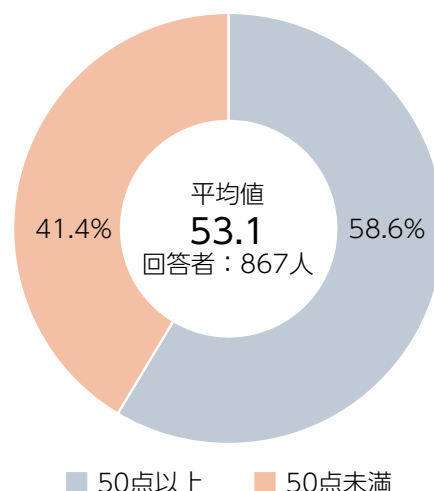


図 2 WHO-5 平均値※

※図中の 53.1 点は回答者全体の平均点、58.6% および 41.4% は 50 点を基準に分けた人数の割合を示しています。

長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶



認知症カフェってなに？

認知症の人やその家族が、他の認知症の人や家族、認知症の有識者などと交流する場です。同じ悩みを抱えている方同士の情報交換だけでなく、元気をもらう機会にもなる場です。

令和8年度 大熊町敬老会について



今年度は9月12日(土)に駅西交流施設「CREVAおおくま」にて開催いたします。

出席を希望された方には8月に招待状を送付しています。来場方法に変更がある方や、やむを得ず欠席される方は福祉課までご連絡くださいますようお願いいたします。

9月は 認知症月間

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、毎年9月21日を「認知症の日(世界アルツハイマーデー)」、9月を「認知症月間(世界アルツハイマー月間)」と定めています。認知症への理解と関心を深めるために啓発活動を行っています。

認知症支援のシンボルカラーは「オレンジ色」とされており、本庁舎出入口や町内に
ある施設にオレンジ色のマリーゴールドのプランターを飾ります。

●なぜ、オレンジ色？

「温かさ・安心感・希望」を象徴するものとして、認知症の方や家族を支える気持ちを表しています。

認知症になっても安心して暮らせる社会を願う気持ちが込められています。

●マリーゴールドの花言葉

「健康・変わらぬ愛・希望」の意味を表し、認知症の方とその家族を支える地域の優しさを象徴しています。



●新しい認知症観とは？

認知症になっても、一人ひとりができること・やりたいことがあり、地域とつながりながら自分らしく暮らし続けられるという考え方が広がっています。

認知症の人でも地域の一員として、役割を果たしながら生きる「共生社会」を目指しています。



健診を忘れずに受けましょう

今年も総合健診の時期がやって来ました。1年間、元気に過ごせましたか？
 いつまでも健康に過ごす為には自分の健康状態を知る事は大切な事です。
 そこで今回は皆さんが日常的に耳にする**健診**と**検診**の違いについてお話いたします。

町で受けられる総合健診がいわゆる“**健診**”です。現状の**健康**状態を総合的に確認し、生活習慣病や健康リスクを早期に把握(**診査**)することを目的としています。

一方で“**健診**”の結果で要精検項目が指摘された際に、医療機関(病院等)で行う**検査・診察・診断**の事を“**検診**”と言います。病気等が無いかなを見つける事を目的としており、病気の早期発見につながります。

もちろん病気がない事が一番ですが、病気を早期発見し、早期治療につなげ、病態悪化させない事が健康寿命の延伸につながり、フレイル(虚弱)予防や介護予防にも貢献します。

病気や臓器の状態を早く把握できれば、治療の選択肢も広がります。治療にかかる期間が短くなり、治療費も比較的安価で済むことで、心身の負担も少なくなります。

人間の身体も自動車(機械)と同様に年を重ねる毎に不都合が生じて来ます。健康維持にはメンテナンスが必要という事です。その為にも毎年実施される総合健診を忘れずに受け、健康状態を自分自身でチェックし、正しく把握する事が大切です。

時には医療機関や専門職(保健師、栄養士、看護師等)へ相談し、助言をもらう事で理解を深めていきましょう。

健診と検診の違い

健診 健康状態を調べる



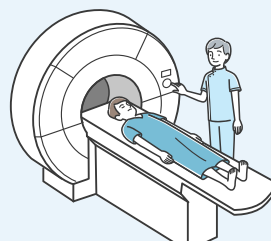
一般健康診断
特定健康診断

目的

健康状態の確認

- ▶ 血圧は大丈夫？
- ▶ 血液検査異常はない？
- ▶ 診察で異常はない？…

検診 特定の病気の早期発見



対策型検診
任意型検診

目的

病気が無いかな？

- ▶ 胃がん 隠れてない？
- ▶ 歯周病ある？
- ▶ “メタボ” 大丈夫？…

生活習慣病の予防と健康相談、がんの早期発見

母子健康手帳交付希望の皆さまへ

大熊町子ども家庭センター**おおくまっこ**は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。
母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。



子育て支援アプリ
「すくすく♡おおくまっこ
by 母子モ」



今月の保健センター開放日は



町は毎月1回、保健センターを開放しています。お茶コーナーやおもちゃに絵本、健康に関する情報を設置しています。健康相談・介護や認知症・栄養相談もできます。赤ちゃんから高齢者の方が集う場として、お気軽にお立ち寄りください。



全身
ずぶ濡れで
楽しみました

8月8日に大野駅西交流エリアで開催された「真夏のびしょ濡れウォーターパーク in Okuma」での一コマです。

子どもたちには無料で水鉄砲が貸し出しされ、サバイバルゲームが行われました。対戦相手のボスを倒すため、子どもたちはこれでもかというほど水を飛ばしていました。

各 種 問 い 合 わ せ 先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター附属病院
☎23-5090
町社会福祉協議会
☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767
CREVAおおくま
☎41-9959
クマSUNテラス
☎41-9948

移住定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103
おおくままちづくり公社
☎23-7101

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582
一時立ち入りコールセンター
☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
大 藤 ゆきね	正 浩・奈津美	西大和久
秋 元 風々星	陽 来・夏 海	大 野
加 藤 大 葵	愛 輝・樹 杏	諏 訪



ご結婚おめでとう

花むこ	住 所	花よめ	住 所
小 林 格	北茨城市	渡 部 ひ な た	大 野



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
石 田 忠 雄	95 歳	南 平
橋 本 マリ子	94 歳	新 町
渡 部 光 一	68 歳	旭 台
渡 邊 邦 浩	54 歳	原
松 本 妙 子	82 歳	清 水
市 川 照 子	85 歳	大 野
金 子 久 子	100 歳	北 向
小 宮 よし子	88 歳	諏 訪
鈴 木 和 子	95 歳	東 平

令和8年7月届出

—お詫びと訂正—

広報おおくま 8月1日号 16 ページ内の「ため池放射性物質対策工事を実施します」のお知らせにおいて、問い合わせ先電話番号に誤りがございました。

お詫びして訂正します。

正：0240(23)7138

誤：0240(23)7893

広報はホームページでもご覧いただけます。

広報おおくまは町ホームページでも公開しています。パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご利用ください。

問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

今月の水道修理当番業者表

指定日	指定給水工事業者名
1日～3日	(株)伊藤工務店 ☎0240-23-7802
4日～9日	(株)小黒設備工業 ☎0240-35-2582
10日～15日 21日、22日	(株)丸 井 ☎0240-23-6071 ☎090-2367-3857
16日～20日	双葉管工(株) ☎0240-22-3488
23日～28日	(有)村井設備 ☎0246-38-6855
29日、30日	双葉設備工業(株) ☎080-2832-4564 ☎0240-27-1253

人のうごき

令和8年7月末現在



住民基本台帳

人 口 9,721人

世帯数 4,198世帯

町内居住者数

人 口 1,662人

(うち帰還者420人)

居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。



町内の空間線量

(令和8年8月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名		空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設		0.09
大熊町役場		0.08
やすらぎ霊園		0.07
旧大野幼稚園前		0.42
大熊インキュベーションセンター		0.13
保健センター		0.24
大野駅		0.13
文化センター※1		0.26
旭台公園		0.30
学び舎ゆめの森		0.11
新町大橋北側		0.27
町区集落センター		0.40
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中等のため直近の計測データを記載しています

※1 令和8年7月4日 午前6時40分時点



長月
September

おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字 (①など) は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



▲分別方法は
コチラから

南部衛生センターごみ受入日 午前8:30~11:30

日	月	火	水	木	金	土
【実施団体】 ㊦ 主なイベント ㊦ その他 ㊦ 各コミュニティ団体 ㊦ 保健センター ㊦ 出張所・連絡事務所 ㊦ おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは 予約が必要です)		1 	2	3 	4 	5 ㊦ なつ祭り in Okuma
6	7 	8 	9 	10 	11 	12 ㊦ 都市計画説明会⑬ ㊦ 敬老会★⑫
13 	14 ㊦ 心のサポーター養成研修会★⑫ 	15 ㊦ おおくま町いわき会★⑬ ㊦ いきいき美活教室★⑬ ㊦ 子育て広場★⑫	16 	17 	18 ㊦ 海外派遣事業申込み期日⑬ ㊦ いきいき若返り測定会★⑬ ㊦ 保健センター開放日⑬	19 ㊦ おおくまハチドリプロジェクト発表会⑬
20 ㊦ おおくま気楽会★⑬ 	21 敬老の日 	22 国民の休日	23 秋分の日 	24 	25 ㊦ 行政相談特設相談所開設日⑬ 	26 ㊦ 町政懇談会 (大熊会場)⑬ ㊦ ゆめフェス⑬ ㊦ おおくままち物語伝承の会⑬ ㊦ 駅前地区 PG 大会★⑬
27 ㊦ 町政懇談会 (いわき会場)⑬ ㊦ 大熊町山田会★⑬ ㊦ 熊川区 PG 大会★⑬	28 	29 	30 ㊦ miniサロン⑬ ㊦ OICランチ交流会★⑬ ㊦ お米券使用期限⑬			

各施設等の
イベント情報は
こちらから
ご覧ください！

駅西交流エリア



大川原交流ゾーン



OIC



まちづくり公社



社会福祉協議会



観光協会

